

第二期和光市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査(予定)

1 調査の概要

(1)調査目的

第二期市町村子ども子育て支援事業計画の策定に向けて国が示した調査票等を踏まえ、和光市が平成25年度に実施した「和光市子ども・子育て支援事業計画のためのアンケート調査」等からの継続項目など、保育・教育提供区域ごとに提供されるサービスの需給計画の立案のために必要な項目を盛り込んだアンケートを実施し、次期事業計画の策定の基礎資料とする。

また、子育てに対するニーズをより正確に把握し、シームレスな支援策を検討するために、市内の妊娠中の女性への調査を行う。

(2)調査対象

- ア. 就学前児童保護者調査：和光市に住む0～5歳児の保護者 2,000人
- イ. 妊婦調査：妊娠中の女性 300人

(3)調査方法

アンケート調査 記名自記式、郵送法

(4)調査時期

平成31年4月～5月

(5)調査項目

〔ア.就学前児童保護者調査項目〕

調査項目は国から示された「調査票」を参考にしながら調査項目の整理を行うとともに、和光市独自の調査項目を設定し、保育・教育及び子ども・子育て支援事業ニーズが的確に把握できるようにしていく。

調査項目	国参考	質問内容	和光市 独自項目
子どもと 家族の状況	問1	居住地区	◎
	問2	あて名の子どもの生年月	
	問3	きょうだい 子どもの人数、末子の生年月	
	問4	調査票に記入している人	
	問5	記入している人の配偶関係	
子育て環境 職場の両立 支援制度	問6	日常的に子育てを行っている人(施設)	
	問7	子育てに もっとも 大きく影響すると思われる環境	
	問8	日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無	

調査項目	国参考	質問内容	和光市 独自項目
子育て環境 職場の両立 支援制度 (続き)	問8-1	祖父母に子どもをあずけていることに関する意識	
	問8-2	友人・知人に子どもをあずけていることに関する意識	
	問9	子育てする上で気軽に相談できる場所の有無	
	問9-1	気軽に相談できる先	
	問10	子育てする上で周囲からサポートがあればよいこと(自由回答)	
保護者の就 労状況	問11	両親の就労状況(就労の有無(就労形態)、就労日数・時間、帰宅時間、出勤時間)、交通手段と利用駅◎ ※問11(1)母親、(2)父親について	一部◎
	問12	フルタイムへの転換希望	
	問12-1	フルタイムへの転換希望があるが実現できる見込みがないとする理由	◎
	問13	就労していない両親の就労希望、就労希望がある両親の希望する就労形態(就労日数/週、時間/日) ※問14(1)母親、(2)父親について	
	問13-1	両親に就労希望がありながら現在働いていない理由	◎
平日日中の 定期的な教育・保育事業 の利用状況	問14	日中の定期的な教育・保育事業の利用の有無	
	問14-1	利用している教育・保育事業の種類 ※国:回答欄に「小規模な保育施設」を追加	◎
	問14-2	日中の定期的な教育・保育事業を利用する日数/週、時間/日、時間帯、希望する日数/週、時間/日、時間帯	
	問14-3	利用する日中の定期的な教育・保育事業の実施場所、その場所は希望通りか◎、実施場所までの交通手段・所要時間◎	一部◎
	問14-4	日中の定期的な教育・保育事業を利用している理由	
	問14-5	幼稚園を利用しない理由 幼稚園への興味・関心について有無とその内容	◎
	問14-6	幼稚園が預かり保育を実施している場合、幼稚園を選択するか	◎
	問14-7	何時まで預かり保育を実施していれば幼稚園を利用するか	◎
	問14-8	日中の定期的な教育・保育事業を利用していない理由	
	問15	日中の定期的な教育・保育事業の利用希望(利用料無償化予定)	
問15-1	教育・保育事業を利用したい場所		

調査項目	国参考	質問内容	和光市 独自項目
平日日中の 定期的な教育・保育事業 の利用状況 (続き)	問 15-2	問 15 で幼稚園又は幼稚園の預かり保育に○を付け、かつ他の保育サービスに○を付けた方に、特に幼稚園を強く希望するかどうか伺う ※国：設問追加	
地域の子育て 支援事業 ニューボラ拠点 (子育て世代包括支援センター等) の利用状況	問 16	地域の 子育て支援ニューボラ拠点(子育て世代包括支援センター等)事業の利用の有無とその頻度	
	問 16-1	子育て支援 ニューボラ拠点(子育て世代包括支援センター等)で利用しているところ、その場所は希望通りか、実施場所までの交通手段・所要時間	◎
	問 16-2	子育て支援 ニューボラ拠点(子育て世代包括支援センター等)を利用していない理由	◎
	問 16-3	子育て支援事業 ニューボラ拠点(子育て世代包括支援センター等)の実施場所が遠いと回答した人の利用可能な交通手段とかかる時間	◎
	問 17	子育て支援 ニューボラ拠点事業(子育て世代包括支援センター等)の今後の利用意向とその頻度	
	問 18	地域市独自の 子育て支援事業の認知度、利用状況、利用意向	◎
土曜・休日や 長期休暇中の 定期的な教育・保育事業 の利用希望	問 19	土曜・日曜・休日の定期的な保育・教育事業の利用希望・頻度、時間帯 ※問 19(1)土曜日、(2)日曜・祝日について	
	問 19-1	毎日ではなく、たまに利用したい理由	
	問 20	幼稚園を利用している人の夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中の保育・教育事業の利用希望、頻度、時間帯	
	問 20-1	希望する場所	◎
病気の際の対応 (平日日中の 教育・保育を 受けている 人)	問 21	この1年間、病気やケガで保育サービスを利用できなかったことの有無	
	問 21-1	この1年間、病気やケガで保育サービスを利用できなかったときの対処方法と日数/年	
	問 21-2	この1年間、病気やケガで保育サービスを利用できなかったとき、両親が仕事を休んで対応した際、できれば施設に預けたいと思ったことの有無、日数	
	問 21-3	預けたい施設の望ましい事業形態 病児・病後児保育を利用したい理由	◎
	問 21-4	預けたいと思わない理由 利用申し込みしたが、受け入れてもらえなかったことの有無	◎
	問 21-5	両親が休む以外の対応をした際、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったことの有無 日数 利用申し込みしたが、受け入れてもらえなかった理由	◎
問 21-6	休んで看ることは考えられない理由		

調査項目	国参考	質問内容	和光市 独自項目
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり	問 22	この1年間、自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけたことの有無、子どもをあずけた日数および理由別日数／年	
	問 22-1	利用していない理由	
	問 23	子どもを一時的にあずけるサービスの利用意向、希望利用日数／年	
	問 23-1	利用したい事業の望ましい事業形態	
	問 24	この1年間、泊りがけの外出の際、子どもを連れて行くことが困難であったことの有無、その対処方法と泊数	
	問 24-1	泊りがけの外出の際、子どもを連れて行くことが困難であった人のその際の困難度	
放課後に過ごす場所について	問 25	小学校就学後、低学年の間放課後過ごす場所、日数／週	
	問 26	小学校就学後、高学年の間放課後過ごす場所、日数／週	
学童クラブの利用希望	問 27	土曜日、日曜日、祝日の 放課後児童学童クラブ の利用希望、時間帯 ※問 27(1)土曜日、(2)日曜・祝日について	
	問 28	夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の 放課後児童学童クラブ の利用希望、時間帯	
職場の両立支援制度	問 29	宛名の子どもが生まれた時、育児休業を取得したか (父親が取得した場合は、取得期間を記入) 取得していない場合はその理由	
	問 29-1	母親が取得した(取得中)の人の育児休業取得後職場復帰の有無	
	問 29-2	職場復帰のタイミング	
	問 29-3	職場復帰した際の子どもの年齢(実際と希望)	
	問 29-4	育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望として取りたかった子どもの年齢	
	問 29-5	実際と希望の職場復帰の時期が違う場合、希望の時期に復帰しなかった理由	
	問 29-6	復帰時に短時間勤務制度の利用の有無	
	問 29-7	短時間勤務制度を利用しなかった理由	
	問 29-8	現在も育児休業中の人の、もし子どもが1歳になった時に必ず預けられる事業があった場合、子どもが1歳になるまで育児休業を取得するか、もしくは1歳になる前に復帰したいか	
子育て・子育て支援状況	問 30	子育てに関する情報の入手経路	◎
	問 31	子育てを楽しみ、つらいと感じる程度	◎
	問 32	和光市は子育てしやすいか	◎
	問 33	居住年数	◎
	問 34	子育て支援に関する意見(自由回答)	

〔イ.妊婦調査項目〕

子育てに対するニーズをより正確に把握し、シームレスな支援策を検討するために、和光市独自に市内の妊娠中の女性への調査を行う。

調査項目	問番号	質問内容
記入者と 家族の状況	問1	居住地区
	問2	年齢
	問3	家族形態
	問4	居住年数
	問5	現住地居住の理由
出産や子育て について	問6	出産予定月
	問7	出産の経験、人数
	問8	理想の子どもの数
	問9	出産予定の医療機関の場所
	問9-1	その医療機関を選んだ理由
	問10	妊娠や出産について困ったこと
	問11	出産やその後の育児に関する負担感
	問12	出産 育児に関して悩んでいること・気になること
	問13	出産や子育てに関する不安や悩みの相談先
	問14	妊娠前の不妊検査の実施の有無
	問15	不妊検査実施者
	問16	不妊治療の実施有無
	問17	不妊治療の方法
問18	子育てに関する情報の入手先	
就労状況	問19	記入者の就労状況(就労の有無(就労形態))
	問19-1	就労日数・時間
	問19-2	帰宅時間、出勤時間
	問19-3	交通手段と利用駅
	問20	配偶者やパートナーの就労状況(就労の有無(就労形態))
	問20-1	就労日数・時間
	問20-2	帰宅時間、出勤時間
	問20-3	交通手段と利用駅
職場の状況	問21	妊娠後の勤務時間の短縮やフレックス勤務の利用の有無
	問22	育児休業制度の有無
	問23	育児休業取得意向の有無
	問23-1	育児休業取得の希望期間
	問24	妊娠・出産や子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業に普及してもらいたいこと

調査項目	問番号	質問内容
職場の状況 (続き)	問 25	仕事と家庭生活のバランスの満足度
	問 26	今回の妊娠を機に仕事をやめたか
	問 26-1	今回の妊娠を機に仕事をやめた理由
	問 26-2	今後仕事につきたいと思うか 仕事につきたいころの子どもの年齢 1年以内に就労したい場合の希望の就労形態(フルタイム、就労日数、時間)
	問 26-3	出産後も仕事を続ける理由、続けたい理由
保育園や幼稚園等について	問 27	出産した子どもを保育園や幼稚園などに通わせたいか
	問 27-1	(1)子どもが何歳になったら通わせたいか (2)通わせたい事業
	問 27-2	通わせたい理由
	問 28	保育園や幼稚園などと合わせて利用したい事業
出産・子育てに関して和光市に期待すること	問 29	和光市は子育てしやすいか
	問 30	外出の際にあれば良いと思うこと
	問 31	今後も和光市に住み続けたいか
	問 32	今後、和光市に充実を図って欲しい子育て支援
	問 33	子育て支援に関する意見(自由回答)

3 調査の分析方法(案)

(1)全体集計

調査ごとに全体集計を出し、全体としての傾向を把握する。

(2)基本属性での全問クロス集計

基本属性を集計軸とした全問クロス集計を行い、基本的な分析を行う。

就学前児童保護者の全問クロス集計は、子どもの年齢別や家族類型別等で行う。

(3)前回調査との比較

平成25年度に実施した調査との比較を行い、変化を分析。

(4)地域別での分析・見込み量の算出

教育・保育提供圏域となる3圏域別に事業に対するニーズの把握、潜在ニーズを把握し、保育サービスの見込み量の算出を行う。

(5)自由回答の整理

アンケート調査は定量的な手法であるが、数量的な分析だけでは把握しきれない対象者の自由意見について、項目を分類、整理し、分析を行う。